

2022年4月20日(水)第三水曜祈祷会

ダニエル書5章17～31節

「文字の解釈」

■不敬虔の罪(5章1～16節)

- ①「ベルシャツアル王」…バビロニア帝国最後の王は、愚かな指導者の代表な人物であった。
- ②「酒の勢いに任せて」…王は聖なる器を飲食に用いて、銀、金、鉄、石の神々を賛美した。
- ③「ちょうどそのとき」…人間の手の指が現れ、王の宮殿の塗り壁の燭台に何かを書き始めた。
- ④「ダニエルを召して」…王はダニエルを連れて来させ、文字の意味を解き明かすように命じた。

■文字の解釈(5:17～31)

1. ネブカドネツアルの取り扱い(17～21節) *ベルシャツアルはネブカドネツアルの娘の子

- ①「いと高き神」…神がネブカドネツアル王に、国と偉大さと栄光と威光をお与えになった。
- ②「こうして彼は」…心が高ぶり、霊が頑なになり、高慢にふるまったので、その王座から降ろされた。
- ③「ついにこう知るように」…いと高き神が人間の国を支配し、御心の者をその上にお立てになる。

2. ダニエルの解き明かし(22～28節)

- ①「心を低くしなかった」…ベルシャツアルは、祖父のことをすべて知っていながら罪を犯した。
- ②「メネ」…神がベルシャツアルの治世を数えて終わりを告げられた。二度の繰り返しは緊急性。
- ③「テケル」…神がベルシャツアルを秤で量られて、目方の足りないことを明らかにされた。
- ④「パルシン」…神がベルシャツアルの国を分割されてメディアとペルシャに与えられる。

3. ベルシャツアル王の死(29～31節)

- ①「紫の衣着せ」…ベルシャツアル王は、文字の解き明かしたダニエルを手厚くもてなした。
- ②「その夜」…ベルシャツアル王は、神の前に悔い改めることもなく、暗殺されてしまった。
- ③「そして」…メディア人ダレイオスが、およそ62歳で新たな支配者となり、その国を受け継いだ。

◎まとめ:「文字の解釈」について

- ①ネブカドネツアル王は、神の取り扱いを通して何を知ったのですか。
- ②ネブカドネツアル王の神の取り扱いから、ベルシャツアル王は何を学ぶべきでしたか。
- ③ダニエルの解き明かしを聞いて、ベルシャツアル王はまず何をしたら良かったのでしょうか。
- ④私たちは、自分の身に起こるすべての出来事を神の恵みの機会として受け止めていますか。

「こういうわけで、なすべき良いことを知っていながら行わないなら、それはその人には罪です。」

(ヤコブ4:17)

「神は言われます。『恵みの時に、わたしはあなたの答え、救いの日に、あなたを助ける。』

見よ、今は恵みの時、今は救いの日です。」

(Ⅱコリント6:2)